

令和8年
定時総会

日時：令和8年5月17日（日） 午後2時開会

場所：「たちばな会」同窓会館（河南高校 校門入り左側）



河南高等学校 校歌

作詞 喜志 邦三

作曲 長谷川良夫

一、山あり高き金剛の

峰を指さす わが友よ

棚引く雲の むらさきは

空に未来の幻を

描く我等に似たらずや

描く我等に似たらずや

三、伸びゆけ 心とりどりに

つよき 優しき わが友よ

学びの園の木に倚れば

河内国原ひろびろと

希望 かがやき空青し

希望 かがやき空青し

大阪府立河南高等学校同窓会「たちばな会」

Ⅰ. 定時総会次第

1. 開会のことば 14:00 (司会: たちばな会副会長 植山 勝秀)
2. 会長挨拶 たちばな会会長 清水 廣一
3. 学校長挨拶 校長 東 文 義 先生
4. 議長選出
5. 議 案
 - 第1号議案 事業報告(案)
 - 第2号議案 会計決算報告(案)
 - 第3号議案 会計監査報告
 - 第4号議案 役員改選(役員候補者の紹介と承認、及び常任幹事、幹事の紹介)
 - 第5号議案 事業計画(案)
 - 第6号議案 収支予算(案)
6. 学校からの報告 14:40
大阪府立河南高等学校 教頭 山田 正晴 先生
7. 校歌斉唱 14:55
8. 閉会 15:00 (予定)

事業報告（令和6年度・令和7年度）R6.4.1～R8.3.31

おもな事業（活動）内容	R6（2024）年度	R7（2025）年度	備 考
1. たちばな会館の開館業務 原則毎月第1土曜日と第3火曜日 午後1時～午後4時 役員・常任幹事が交代で開館業務	24回 予定どおり開館を行 った	24回 予定どおり開館を行 った	
2. 運営委員会の開催 原則奇数月の第1土曜日 午後2時～午後4時 構成は役員・常任幹事の13～15名	定例運営委員会 6回 出席率 70.9%	定例運営委員会 5回 出席率 70.1% ※令和7年9月は 案件なしで未開催	
3. 定時総会の開催 2年度に1回実施 役員改選、事業報告及び計画、会計関係の 承認などの議案 終了後には年度により懇親会を開催	令和6年6月16日（日） 総会 12:00～12:40 懇親会 13:00～16:00 懇親会では、同窓会合唱団「コーラスたちばな」の演奏 尺八の演奏 ビンゴゲーム	会場 道頓堀ホテル 総会参加者数 71名 来賓 山田教頭 竹本事務長 参加者数 72名	7年度は 未開催年度
4. 同窓会会員名簿の管理 名簿の更新・管理を（株）サラトに委託 ・会報送付時に個人IDを付与し、会員自身 でも変更入力が可能 H27～ ・同窓会ホームページでも変更入力が可能で 入力情報を、運営委員がサラトに報告 R7～	R7.3月現在 会 員 36,548名 （物故者・住所不明者を除く） 22,879名 旧職員 760名 （物故者・住所不明者を除く） 292名	R8.3月現在 会 員 36,814名 （物故者・住所不明者を除く） 21,931名 旧職員 771名 （物故者・住所不明者を除く） 266名	名簿管理料 年:5万5千円 （株）サラトに支 払い
5. 卒業式関連 ・毎年の卒業式にたちばな会役員が出席 たちばな会会長からの祝辞を送る ・記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈 ・50年前の卒業生の出席と、花束の贈呈 ・電報の掲示板に会長からのメッセージを 作成し、掲示する ・卒業式前日「たちばな会」入会式を実施 クラス幹事を対象に「たちばな会館」で実施	<第77期生> R7.2.28（金）10時～ ・来賓、保護者、在校生など が出席（運営委員5名出席） ・50年前の卒業生27期 生は8名出席し、代表から 花束贈呈 ・たちばな会からの記念品 は例年どおり卒業証書ホル ダーを端山委員から贈呈 ・2/27 仲谷・倉原委員が 入会式に出席し説明	<第78期生> R8.2.27（金）10時～ ・来賓、保護者、在校生など が出席（運営委員3名出席） ・50年前の卒業生28期 生は3名出席し、代表から 花束贈呈 ・たちばな会からの記念品 は例年どおり卒業証書ホル ダーを端山委員から贈呈 ・2/26 仲谷・倉原委員が 入会式に出席し説明	卒業時に徴収す る入会金 令和3年3月卒 業の73期生か ら7千円を徴収 ※5千円から変更

おもな事業（活動）内容	R6（2024）年度	R7（2025）年度	備 考																											
<p>6. 同期会への助成金 学年全体を対象とした同期会に対して、申請に基づき助成金を交付 <6年度> 助成額：2万円 次期申請可能時期は、助成年度から4年度を経過後 <7年度>助成額 5万円 次期申請可能時期は、助成年度を含めて3年度を経過後の年度から可能</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期生</th> <th>実施日</th> <th>支給日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「たちばな会」総会</td> <td>R6. 6.16</td> <td>R6. 5.21</td> </tr> </tbody> </table>	期生	実施日	支給日	「たちばな会」総会	R6. 6.16	R6. 5.21	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期生</th> <th>実施日</th> <th>支給日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>R7 9.14</td> <td>R7 8.2</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>R7 11.23</td> <td>R7. 7.1</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>R7 11.29</td> <td>R7 10.8</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>R8. 1.11</td> <td>R7. 10.27</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>R8. 3.21</td> <td>R8. 2.21</td> </tr> <tr> <td>53</td> <td>R8. 2.23</td> <td>R8. 3.17</td> </tr> </tbody> </table>	期生	実施日	支給日	17	R7 9.14	R7 8.2	26	R7 11.23	R7. 7.1	31	R7 11.29	R7 10.8	76	R8. 1.11	R7. 10.27	36	R8. 3.21	R8. 2.21	53	R8. 2.23	R8. 3.17	
期生	実施日	支給日																												
「たちばな会」総会	R6. 6.16	R6. 5.21																												
期生	実施日	支給日																												
17	R7 9.14	R7 8.2																												
26	R7 11.23	R7. 7.1																												
31	R7 11.29	R7 10.8																												
76	R8. 1.11	R7. 10.27																												
36	R8. 3.21	R8. 2.21																												
53	R8. 2.23	R8. 3.17																												
<p>7. 同窓会会報の発行状況（最近のもの） 平成27年10月に第14号 令和元年11月に第15号 令和5年11月に第16号 令和7年11月に第17号を、(株)サルトに委託して発行した</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p>令和7年11月14日に第17号を発行した。 発行部数：22,338部 経費は160万円で、会報発行協力金が100万を超えた場合、超えた分80%を還元 協力金確定はR8年9月</p>																												
<p>8. 関連団体への助成金 「たちばな会河内長野支部」 同窓会コーラス「たちばな」への活動費を助成</p>	<p>河内長野支部 30,000円 R6.9.14 交付 コーラスたちばな 30,000円 R6.9.14 交付</p>	<p>河内長野支部 30,000円 R7.11.1 交付 「コーラスたちばな」は、令和7年7月5日付けで解散のため未交付 会の残金31,649円をたちばな会に寄付金として寄付があった</p>																												
<p>9. 現役クラブへの激励金等の交付 全国大会レベルへの出場に対して、激励金として1万円～10万円の範囲での支給を行ってまいりましたが、令和4年11月5日の運営委員会において、今後は近畿大会レベルの出場にも激励金を支給することを決定しました。また支給基準を令和7年度から次表のとおり増額する改正を運営委員会で決定しました。ただ、開催場所や宿泊の有無、また参加人数により基準通りの支給額では適当ではない場合は、その都度、運営委員会で協議し決定することとしています。</p> <table border="1" data-bbox="263 1503 1214 1921"> <thead> <tr> <th>大会レベルの別</th> <th>支給対象</th> <th>基本額（7年度から変更）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全国大会</td> <td>出場する1団体あたり</td> <td>10万円→20万円</td> </tr> <tr> <td>出場する個人1人あたり</td> <td>2万円→5万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">近畿大会 (R4.11.5より支給対象に加えた)</td> <td>出場する1団体あたり</td> <td>5万円→変更なし</td> </tr> <tr> <td>出場する個人1人あたり</td> <td>1万円→2万円</td> </tr> </tbody> </table>				大会レベルの別	支給対象	基本額（7年度から変更）	全国大会	出場する1団体あたり	10万円→20万円	出場する個人1人あたり	2万円→5万円	近畿大会 (R4.11.5より支給対象に加えた)	出場する1団体あたり	5万円→変更なし	出場する個人1人あたり	1万円→2万円														
大会レベルの別	支給対象	基本額（7年度から変更）																												
全国大会	出場する1団体あたり	10万円→20万円																												
	出場する個人1人あたり	2万円→5万円																												
近畿大会 (R4.11.5より支給対象に加えた)	出場する1団体あたり	5万円→変更なし																												
	出場する個人1人あたり	1万円→2万円																												

おもな事業（活動）内容	R6（2024）年度	R7（2025）年度	備 考
クラブ激励金支給実績			
R6年度			
支給日	クラブ名・大会名	支給額	大会結果
7/8	女子ソフトテニス部 <近畿大会> 令和6年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 令和6年7月13日 個人戦 令和6年7月14～15 団体戦 (会場：福知山市 三段池科研電機テニスコート)	5万円	女子個人戦 1チーム2名 96チーム参加 2回戦で敗退 女子団体戦 8名(個人の2名を含む) 58チーム参加 1回戦で敗退
7/8	陸上部 <近畿大会>第77回全国高等学校 陸上競技対校選手権大会 近畿地区予選会 令和6年6月13日 (会場：長居公園内 ヤンマースタジアム長居)	1万円	砲丸投げに3年生 田中 謙信さん出場 36人出場中23位 (全国大会出場かなわす)
8/20	陸上部 <近畿大会>第57回近畿高等学校 ユース陸上競技対校選手権大会 令和6年9月13日～15日 (会場：滋賀県彦根市 平和堂HATO スタジアム)	1万円	走り幅跳びに1年生 笹田 魁士さん出場 17人出場中3位 (記録6m91)
9/10	陸上部 <お祝い金として> 第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」 (旧の国体) 出場に対してのお祝い金 令和6年10月13日か出場日 (会場：佐賀市 SAGA サライズパークスタジアム)	2万円	走り幅跳びに1年生 笹田 魁士さん出場 ※先に行なわれた近畿大会の結果に関係なく大阪府陸連からの推薦により出場 31人出場中6位 (記録6m97)
9/24	水泳部<近畿大会>第8回近畿高等学校 新人水泳大会 令和6年10月12日～13日 (会場：滋賀県草津市西大路町 草津市民プール)	1万円	50m自由形に2年生 榎本 涼介さん出場 標準記録を突破したことにより、大阪府高等学校体育連盟からの推薦があった 体調不良で参加を断念
10/15	軟式野球部<近畿大会>令和6年度秋季近畿地区 高等学校軟式野球大会 令和6年11月9日(土)～16日(土) (会場：滋賀県甲賀市水口町 甲賀市民スタジアム)	5万円	大阪予選で優勝(決勝戦 河南4-2興国) し、本大会に出場 本大会は、決勝戦で(河南1-興国2) 惜敗し、準優勝 ※興国高校も大阪府の高校
11/28	女子ソフトテニス部 <近畿大会> 令和6年度近畿高等学校ソフトテニス選抜インドア大会 令和7年1月11日(土)～13日(月) 個人戦に出場 安田・古味ペアが出場 会場：長浜バイオ大学ドーム(滋賀県)	2万円	一回戦で敗退
総額 17万円			

R7年度			
支給日	クラブ名・大会名	支給額	大会結果
4/15	軟式野球部 <全国高等学校軟式野球選手権大会 70回記念「春の軟式交流試合in甲子園」> 西チーム大阪代表(南 大地君)が投手で出場	2万円	令和7年5月5日 先発投手で1回~3 回に出場 打席ではライト前ヒット 西日本選抜3-0東日本選抜
5/20	軟式野球部<近畿大会>令和7年度春季近畿地区 高等学校軟式野球大会 令和7年6月7日(土)~15日(日) (会場:姫路ウイング球場)	5万円	大阪予選で準優勝 2チームが本大会出場 (決勝戦 河南0-2あへの翔学) 本大会1回戦で惜敗 出場8チーム (河南1-2 神港学園(兵庫))
9/24	陸上部 <全国大会>JOC シュニアオリンピック カップ 第19回U18陸上競技大会 令和7年10月17日~19日 (会場:三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場)	5万円	走り幅跳びに2年生 笹田 魁士 <small>かいたし</small> さん出場 30人出場中7位 (記録7m05) 優勝記録 7m24
10/15	水泳部 <第9回近畿高等学校水泳大会> 令和7年10月11日~12日 (会場:滋賀県草津市立プール) インフロニア草津アクアティクスセンター	2万円	50m/バタフライに 1年生 生部賢士朗 <small>けんしろう</small> さん出場 78名出場中52位で予選敗退

総額 14万円

10. 河南高校応援助成金事業 (令和7年度から実施)

昨年度の令和7年度より、河南高校を応援するための助成金制度を創設しました。

対象とする品目は、学校が大阪府教育庁に予算要求するも、予算が付かない、また要求をしたいが、要求総額の関係から要求できなかった物品、またクラブ活動の「安全」「安心」のための物品、さらにはクラブ活動をより楽しめて活発な活動が行えるための物品など、幅広い物を対象に「河南高校応援助成金制度」を創設しました。

同窓会の予算額年間80万円の範囲内で、学校の要望により項目を提出していただき、運営委員会において、決定を行い、学校が購入した物品の支払いを「たちばな会」が行う流れになっています。令和7年度に助成した品目は次のとおりです。

令和7年度 河南高校応援助成金 助成品目一覧

助成希望元	品名	数量	単位	メーカー・型・品番等	助成金額(円)
進路指導室	大学赤本	41	冊	各大学別受験問題参考図書	100,000
図書館	図書館用図書	84	冊	図書館用図書	147,222
	ゴム印	1	個	同窓会からの寄贈表示用ゴム印	2,750
特活・自治会	冷凍冷蔵庫	2	台	ハイアールJF-CW20A ハイアールMNC319B 配線工事料	236,500
特活・広報	iPad他	1	セット	iPadmini・HDD ケース・三脚	101,750
広報	パンフレット	1	枚もの	学校案内パンフレット 1,300部	99,650
	パンフレット	1	枚もの	学校説明会用案内チラシ (A4) 800枚	11,660
	法被	5	枚	イベント用法被	19,250
保健室	生理用品	150	箱	生理用ナプキン 150箱(28枚×2組)	57,000
助成合計額					775,782

おもな事業（活動）内容	R6（2024）年度	R7（2025）年度	備 考
<p>11. 久しぶりに母校を訪ねてみませんか？ ～ホームカミングデー～ の実施 河南フェスティバルの土曜日に「たちばな会館」を開放し、次のような展示を行って卒業生や現役生、父兄の皆様との交流の場を提供するイベントです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去から直近までの卒業アルバム展示 ・女学校時代製作の刺繍の屏風作品を展示 ・富田林寺内町燈路に出展した灯籠作品を展示 	<p>令和6年9月14日（土） 正午～14：30 来館者数 57名 (名簿記載者の数) 周知方法 受付でのチラシの配布 正門前でホワイトボード 学年幹事へのハガキ案内 現役生徒の保護者へ案内 文を配布</p>	<p>令和7年9月6日（土） 10：00～14：30 来館者数 80名 (名簿記載者の数) 周知方法 学校作成の案内パンフ 同窓会の案内チラシ配布 学年幹事へのハガキ案内 正門前でホワイトボード ペット茶の提供 R7 は来館者にペット茶を提供した</p>	<p>河南フェスティバル開催日は9月第2金曜日と土曜日</p>
<p>12. 富田林市寺内町燈路への参加 毎年8月の第4土曜日（基本）に行われる「富田林寺内町燈路」のイベントに、現役書道部や、たちばな会会員の作品50点を灯籠に貼り寺内町の「じないまち展望広場」付近に並べています。</p> <p>主 催 じないまち四季物語実行委員会 共 催 富田林寺内町をまもり・そだてる会 富田林市観光協会 後 援 大阪府・富田林市・近畿日本鉄道（株）</p>	<p>台風10号の影響により、イベントは中止（翌日の予備日も含めて）となった 令和6年8月31日（土） 午後6時30分～午後9時 出展灯籠作品 現役書道部 20基 同窓生（3～52期生）30基 ※作品は翌年に、そのまま出展することとなる</p>	<p>令和7年8月30日（土） 午後6時30分～午後9時 出展灯籠作品 現役書道部 20基 同窓生（3～52期生）30基 当日参加者 運営委員 7名 高校書道部員と家族、その友人など</p>	

会計決算報告《令和6年度》

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部 (A)

(単位:円)

科目	金額	備考
入会金	1,862,000	第77期生 7,000円×266名
賛助費	275,816	寄付5件
広告料	0	
その他	111,126	利息(4,586円)・繰越算入漏れ分(106,540円)
前年度繰越金	17,711,621	
合計(A)	19,960,563	

支出の部 (B)

(単位:円)

科目	金額	備考
総会費	28,248	総会開催雑費
名簿管理委託費	55,000	同窓会名簿管理委託料(株)サラト
広報(会報)関係費	242,000	同窓会ホームページ管理委託料(株)サラト (初年度セットアップ費用含む)
卒業式関係費	154,011	卒業記念品(卒業証書ホルダー)、 卒業式花束代金(27期生⇒77期生)、 保存用卒業アルバム(77期生)購入代金
同窓会助成費	80,000	同窓会開催助成金(1件)、 河内長野支部活動助成金、コーラス「たちばな」活動助成金
母校援助費	170,000	母校部活動等激励金(7件)
事業・事務関係費	13,085	富田林寺内町燈路関係、ホームカミングデー関係、 事務用消耗品費等
会館維持管理費	96,817	たちばな会館事務室 電気代金 3,465円 電話・ネット代金 90,822円 さくらインターネットサーバー利用料 2,530円
その他(予備費)	0	
合計(B)	839,161	

収支(A-B)

(A)	19,960,563	円
-(B)	839,161	円
差引金額	19,121,402	円【次年度への繰越金】

上記のとおり報告いたします。

会計 端山 淳子



会計 田島 芳夫



会計決算報告《令和7年度》

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

収入の部 (A)

(単位:円)

科目	金額	備考
入会金	1,911,000	第78期生 7,000円×273名
賛助費	16,596	寄付 1件
広告料	40,000	会報17号広告料 2件
その他	26,338	預金利息
前年度繰越金	19,121,402	
合計(A)	21,115,336	

支出の部 (B)

(単位:円)

科目	金額	備考
総会費	910	総会開催雑費
名簿管理委託費	55,000	同窓会名簿管理委託料 (株)サラト
広報(会報)関係費	1,600,000	会報17号 印刷, 発送費用 (株)サラト
卒業式関係費	170,660	卒業記念品(卒業証書ホルダー)、 卒業式花束代金(28期生⇒78期生)、 保存用卒業アルバム(78期生)購入代金
同窓会助成費	330,000	同期会開催助成金(6件)、 河内長野支部活動助成金
母校援助費	965,782	母校部活動等激励金(5件) 河南高校応援助成金事業 9件(令和7年度から実施)
事業・事務関係費	40,898	ホームカミングデー関係、振込手数料、通信・事務雑費等
会館維持管理費	120,194	たちばな会館事務室 電気代金 2,458円、 電話・ネット代金 97,736円 たちばな会館玄関マットと事務室エアコンクリーニング 代金 20,000円
その他(予備費)	0	
合計(B)	3,283,444	

収支(A-B)

(A)	21,115,336	円
- (B)	3,283,444	円
差引金額	17,831,892	円【次年度への繰越金】

上記のとおり報告いたします。

会計 端山 淳子



会計 田島 芳夫



会計監査報告

《令和6年度》

令和6年度の会計決算書について、関係帳簿等を監査したところ適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。

令和7年12月6日

大阪府立河南高等学校同窓会

たちぼな会 会計監査

たちぼな会 会計監査

川之上 政子



Ⓢ

山本 紘嗣



Ⓢ

会計監査報告

《令和7年度》

令和7年度の会計決算書について、関係帳簿等を監査したところ適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。

令和8年4月23日

大阪府立河南高等学校同窓会

たちばな会 会計監査

たちばな会 会計監査

川之上 政子

山本 紘嗣



「たちばな会」 会 則

(名称)

第1条 本会は、大阪府立河南高等学校同窓会「たちばな会」と称し、所在地を大阪府立河南高等学校内に置く。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を深め、教養を高め、会員と母校の関係を親密にし、母校の発展と公共の福祉に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、正会員及び特別会員をもって構成する。

2. 正会員は、次のとおりとする。

- ①大阪府立富田林高等女学校卒業生
- ②大阪府立河南高等学校卒業生
- ③大阪府立河南高等学校併設中学校卒業生
- ④前3号に準ずる者

3. 特別会員は、次のとおりとする。

- ①大阪府立富田林高等女学校旧職員
- ②大阪府立河南高等学校旧職員
- ③大阪府立河南高等学校現任職員

(役員等)

第4条 本会に次の役員を置く。

- ①会 長 1名
- ②副会長 若干名
- ③書 記 若干名
- ④会 計 2名
- ⑤会計監査 2名

2. 本会に常任幹事若干名を置く。

3. 本会に幹事若干名を置く。

(役員等の選出)

第5条 役員は、会員の中から選考委員会で選考し、総会において選任する。

2. 常任幹事及び幹事は、会員の中から選考委員会において選考し、運営委員会に諮り会長が委嘱する。但し、各期における均衡を考慮するよう努めるものとする。

3. 役員、常任幹事及び幹事(以下「役員等」とい。)が任期中に欠員となった場合は、選考委員会において選考し、運営委員会に諮り会長が委嘱する。

(任期)

第6条 役員等の任期は、就任後の次の定時総会の終結の時までとする。但し再任を妨げない。

2. 欠員により選任された役員等の任期は、他の役員等の残任期間と同一とする。

(役員等の職務)

第7条 役員等の職務は次のとおりとする。

- ①会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- ②副会長は、会長を補佐し、会長不在のときはその職務を代理する。
- ③書記は、本会の議事その他の主要事項を記録する。
- ④会計は、本会の会計事務を司る。
- ⑤会計監査は、本会の会計に関する監査を行なう。
- ⑥常任幹事は、役員を補佐し本会の会務を分掌する。
- ⑦幹事は、会員相互の連絡調整及び親睦向上を図るとともに、本会の会務を分掌し事業推進に参画する。

(顧問、名誉会長等)

第8条 本会に顧問、名誉会長、名誉副会長及び相談役を置くことができる。

2. 顧問、名誉会長、名誉副会長及び相談役は、運営委員会に諮り会長が委嘱する。

3. 顧問、名誉会長、名誉副会長及び相談役である期間は、役員等の任期と同一とする。

(学年幹事及びクラス幹事)

第9条 本会に学年幹事及クラス幹事を置くことができる。

2. 学年幹事及びクラス幹事に関する事項は別に規則において定める。

(選考委員会)

第10条 役員等を選任するため、本会に選考委員会を設ける。

2. 選考委員会は、役員、常任幹事及び幹事の中から各々若干名をもって構成する。

3. 選考委員会の委員は、運営委員会において選出する。

4. 選考委員会の委員の互選により選考委員長を選出し、同委員長は選考委員会を代表する。

5. 選考委員会は、役員等を選任する必要がある度毎に組織し、役員等の選任決定とともに解散する。

(事業)

第11条 本会は、第2条の目的を構成する為、研究会、講演会、講習会その他必要と認める事業を行なう事ができる。

(総会)

第12条 総会は、定時総会と臨時総会とする。

2. 定時総会は、2年毎に会長が招集する。

3. 臨時総会は、必要がある場合に会長が招集する。

(総会の議決事項等)

第13条 総会においては次に掲げる事項を審議する。

- ①事業計画及び予算に関する事項
- ②役員を選任に関すること
- ③会則の制定及び変更に関すること

④前各号のほか運営委員会が特に必要と認める事項

2. 総会においては前項のほか事業及び決算に関する報告を行なう。

3. 議決は出席した会員の過半数をもってこれを決する。

4. 前項の規定にかかわらず、第1項第2号及び同項第3号に関する事項は、出席した会員の3分の2以上で決する。

(運営委員会)

第14条 運営委員会は、役員及び常任幹事をもって構成する。

2. 運営委員会は、会長がこれを招集し、議決は出席者の過半数をもって決する。

(運営委員会の議決事項)

第15条 運営委員会は、この会則に別に定めるもののほか、次の事項を審議議決する。

①総会の議決した事項の執行に関すること

②総会に付議すべき事項

③本会運営上の重要な事項の立案及び執行に関すること

④規則及び細則等の制定及び改廃

⑤その他総会の議決を要しない会務の執行に関すること

(幹事会)

第16条 幹事会は、役員、常任幹事及び幹事をもって構成する。

2. 幹事会は、必要に応じ会長が招集する。

(経費)

第17条 本会の経費は、入会金、会費及びその他の収入をもってあてる。

2. 正会員は、入会金を納入する。

3. 総会の承認を経て会費を徴収することができる。

4. 入会金及び会費の額は、運営委員会で定める。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる

(規則等)

第19条 この会則の施行に関し、必要な事項は別に規則又は細則等で定める。

2. 前項の規則又は細則等は、運営委員会の議決をもって定める。

(定めの無い事項)

第20条 この会則に定めの無い事項については、全て運営委員会の議決によるものとする。

附 則

1. ～8. まで省略

9. この会則は、一部改正により平成26年6月21日より施行する。

役員候補者

期 生	役 職 名	氏 名
26	会 長	清水 廣一
26	副 会 長	植山 勝秀
26	副 会 長	山本 眞吾
26	書 記	前田万里子
26	書 記	森田久美子
30	会 計	田島 芳夫
30	会 計	端山 淳子
15	会計監査	川之上政子
17	会計監査	山本 紘嗣

特別役員名簿

役 職 名	氏 名	備 考
名 誉 会 長	東 文 義	現母校校長
名 誉 副 会 長	山 田 正 晴	現母校教頭
名 誉 副 会 長	川 上 元	現母校事務長

常任幹事・幹事名簿

(令和8年5月現在)

役職名	氏 名	期 生
常 任 幹 事	平 木 佳 代 子	21
//	仲 谷 隆	26
//	清 友 敦 子	27
//	鵜 池 浩 文	30
//	酒 卷 圭 一	30
//	倉 原 伸 二	34
//	尾 崎 守	42
幹 事	惠 島 明	14
//	清 水 仁 志	20
//	山 崎 嘉 昭	25
//	金 岡 光 代	28
//	田 中 温 子	30
//	守 山 雅 巳	30

事業計画（案）

内 容 （令和8年度・9年度の事業計画）

< イベント関連事業 >

① 「富田林寺内町燈路まつり」への参加《R8・9年度共通事業》

- ・富田林寺内町一帯で約1,000基の灯籠が、例年8月の最終土曜日に並べられる行事
- ・午後6時30分～午後9時の間灯籠に点灯
- ・たちばな会は「じないまち展望広場」付近に50基の灯籠を設置する
- ・灯籠の4面のうち1面にさまざまな文字や水彩画の作品を貼り、道路に並べる
- ・現役書道部員の作品や同窓生の作品を出展し、現役生や同窓生の交流を図っており、今後とも引き続き実施する
- ・今後は美術部などにも協力を呼びかけ、同窓会と現役生徒とのつながりを広げてゆく

② 「久しぶりに母校を訪ねてみませんか？」の開催《R8・9年度共通事業》

- ・「河南フェスティバル」に合わせ、たちばな会館を開放して実施しているイベントである
- ・河南フェスティバルに来校された方々を対象に、過去からの卒業アルバム、記念誌などを自由に閲覧できるコーナーの設置や、女学校時代に制作された刺繍の屏風作品を展示し、多くの方々が気軽に入りやすい雰囲気作りに努めている
- ・年々入場者が増加しており、昨年度は80名もの来場者があった 今後ともPRを行い実施していく
- ・把握している学年幹事に対してお知らせのハガキを送付して周知案内する

③ 卒業式関連事業《R8・9年度共通事業》

- ・新規卒業生に対する同窓会入会式を、卒業式前日に各クラスの幹事を集めて実施する
- ・クラス幹事の中から学年幹事2名を選出し、同期会のリーダーや、「たちばな会」との連絡役としての役割を説明する
- ・各クラス幹事に「たちばな会」の活動内容などをクラス全員に伝達してもらう
- ・卒業式当日は、たちばな会から卒業記念品（卒業証書ホルダー）の贈呈を行う
- ・卒業式には50年前の卒業生に列席していただき、代表者から卒業生に花束の贈呈を行う

④ 学校、現役生徒、たちばな会の会員の連携による新たなイベントの考案《継続》

- ・3者の連携による新たなイベントの企画、考案を行い、河南高校のPRや地域貢献につながる活動を行うことにより、現役生徒には同窓会活動の意義を理解していただき、卒業後の積極的な同窓会活動に繋げていく

< 通年事業 >

① 学年同窓会対象助成金事業

- ・5万円を助成 昨年度の7年度から2万円から5万円に増額した
- ・同窓会開催前でも支払い可能
- ・再度の申請は開催年度を含めて3年度経過後に申請ができる

②河南学校応援助成金事業

- ・令和 7 年度に創設した制度を、今後とも継続して母校を応援していく
- ・学校からの要望に基づき、設備備品、図書類、クラブ活動の用品類など、幅広い助成を行う

③現役生のクラブ活動激励金の支給

- ・全国大会、または近畿大会のレベルの大会に出場した際に、運営委員会で定めた基準額を基本として激励金を支給する
- ・今後は、運動クラブのように、全国大会や近畿大会がない、文科系のクラブにも助成が出来る方法などについて運営委員会で検討を行う

④河内長野支部との連携

- ・「たちばな会 河内長野支部」との連携を取り、支部活動に助成する

⑤会員名簿の管理業務

- ・新規会員データ入力や、変更に伴う情報の修正などを委託業者と連携して実施し、より正確な会員情報の収集を行う

⑥会員情報提供業務

- ・個人情報使用申請書の記載により会員情報を提供し、同窓会の開催を支援する
- ・宛名ラベルの印刷、案内状の発送、出欠者の管理、会場の手配、当日の受付から進行などを、名簿管理委託業者（株式会社サラト）による同窓会支援サービス（有償サービス）の利用により、幹事業務の省力化が図れることを紹介し、同窓会の開催を推進し、また支援を行う

⑦運営委員会の開催

- ・役員と常任幹事が集まる会議
- ・原則奇数月の第 1 土曜日午後 2 時～4 時及び必要に応じて臨時に開催し、「たちばな会」の様々な案件について協議を行う

⑧たちばな会館の開館業務

- ・原則、毎月第 1 土曜日と第 3 火曜日の 13:00～16:00 に役員が交代で開館を行う
- ・事務室において、来館者の対応、電話対応、郵便物やメールおよびファックスのチェックなどを行うとともに、各期の同期会やクラス会の開催などについての相談や助言を行う
- ・開館日の開館時間には、同期会などの打合せ会場として使用できることをより一層周知する

⑨会報の発行

- ・経費面から見た費用対効果について令和 7 年度に検討を行った結果、令和 7 年 11 月の会報 17 号をもって、今後は不定期発行とすることになった
- ・住所確認のための会報送付に代わる手法を今後検討していく
- ・会報でお知らせしていた総会開催日程については、刷新したホームページでお知らせする
総会の開催は、2 年に 1 回で 5 月の第 3 日曜日を基本に開催する

⑩今後の事業展開等についての会議開催

- ・役員、常任幹事に加えて幹事にも集まっていたいただき、今後の事業や「たちばな会」のあり方についての会議を行う

会計予算（案）《令和8年度》

（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

収入の部（A）

（単位：円）

科目	金額	備考
入会金	2,107,000	第79期生 7,000円×301名
賛助費	0	
広告料	0	
その他	0	（利息等）
前年度繰越金	17,831,892	
合計（A）	19,938,892	

支出の部（B）

（単位：円）

科目	金額	備考
総会費	22,000	冊子等印刷製本費・総会関連郵便代金等・その他雑費
名簿管理委託費	55,000	（株）サラト同窓会名簿管理委託料
広報関係費	55,000	（株）サラト同窓会ホームページ管理委託料
卒業式関係費	192,000	卒業記念品・花束・保存用アルバム購入代金等
同窓会助成費	330,000	同期会開催助成金・支部活動助成金
母校援助費	1,200,000	母校部活動等激励金・河南高校応援助成金事業
事業・事務関係費	151,000	富田林寺内町燈路関係・ホームカミングデー関係・郵便代金等・事務用消耗品費・事務雑費等
会館維持管理費	102,000	たちばな会館光熱費・たちばな会館電話ネット代金・備品関連
その他（予備費）	0	
合計（B）	2,107,000	

※ 収入合計額（A）－支出合計額（B）の残額については、翌年度に繰越

会計予算（案）《令和9年度》

（令和9年4月1日～令和10年3月31日）

収入の部（A）

（単位：円）

科目	金額	備考
入会金	1,960,000	第80期生 7,000円×280名
賛助費	0	
広告料	0	
その他	0	（利息等）
前年度繰越金	17,831,892	
合計（A）	19,791,892	

支出の部（B）

（単位：円）

科目	金額	備考
総会費	22,000	冊子等印刷製本費・総会関連郵便代金等・その他雑費
名簿管理委託費	55,000	（株）サラト同窓会名簿管理委託料
広報関係費	55,000	（株）サラト同窓会ホームページ管理委託料
卒業式関係費	180,000	卒業記念品・花束・保存用アルバム購入代金等
同窓会助成費	330,000	同期会開催助成金・支部活動助成金
母校援助費	1,200,000	母校部活動等激励金・河南高校応援助成金事業
事業・事務関係費	151,000	富田林寺内町燈路関係・ホームカミングデー関係・郵便代金等・事務用消耗品費・事務雑費等
会館維持管理費	102,000	たちばな会館光熱費・たちばな会館電話ネット代金・備品関連
その他（予備費）	0	
合計（B）	2,095,000	

※ 収入合計額(A)－支出合計額(B)の残額については、翌年度に繰越